

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
定時株主総会	毎年3月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行(株)）にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

HINOKIYA

株式会社 ヒノキヤグループ

第33期 報告書

2020.1.1 ▶ 2020.12.31

証券コード：1413

ホームページのご案内

IR情報はここから



当社のグループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧いただけます。



ヒノキヤグループ 検索

<https://www.hinokiya-group.jp/>

IR情報メール配信登録サイトのご案内

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などをお届けいたします。当社IRサイトからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。



「IR情報」ページ下部の「IR情報メール登録」よりご登録いただけます。

HINOKIYA

株式会社 ヒノキヤグループ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館7階
<https://www.hinokiya-group.jp/>



01 ごあいさつ

02 トップインタビュー

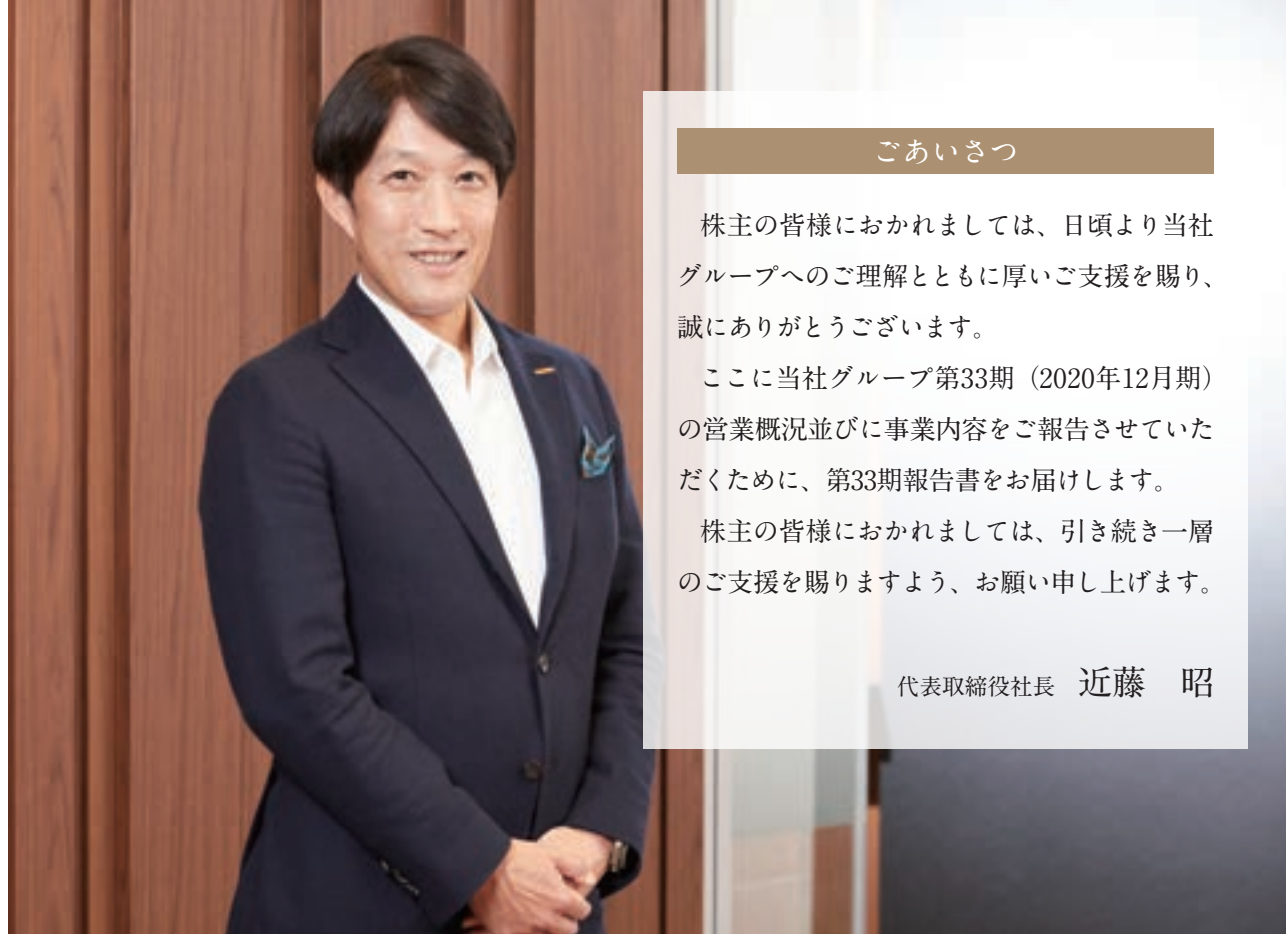
05 特集 「2030年ビジョン」を新たに策定
コロナ禍の取り組み

07 セグメント情報

08 TOPICS

10 会社概要／株式の状況

表紙 株主メモ／各種お手続きについて



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社グループ第33期（2020年12月期）の営業概況並びに事業内容をご報告させていただくために、第33期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 近藤 昭

トップインタビュー

ニューノーマルの定着を追い風に成長を持続。
本業に注力し、次の10年に向けた足掛かりを築きます。

コロナ禍による環境変化に対応
減収ながら利益面は過去最高を更新

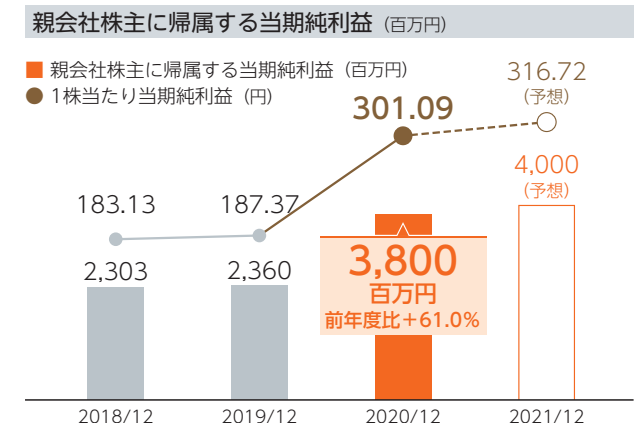
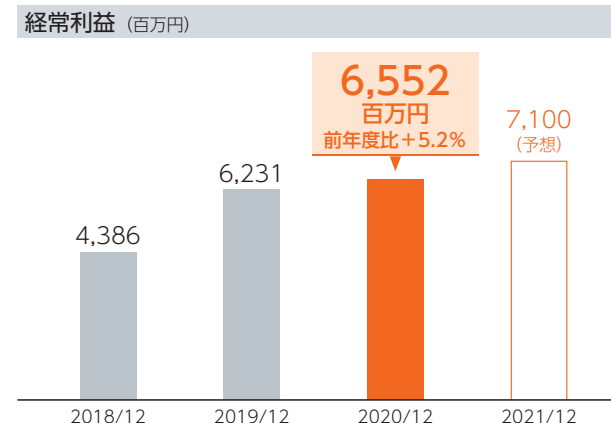
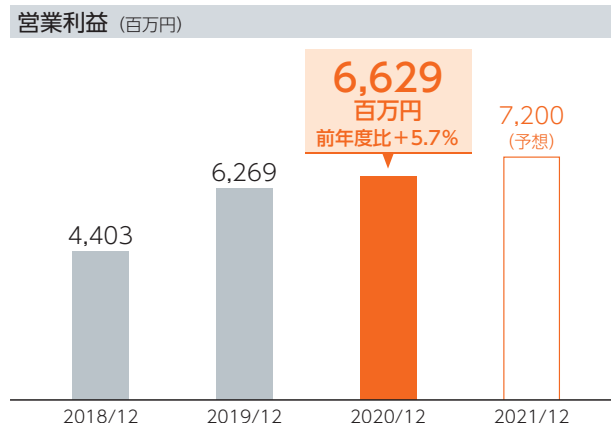
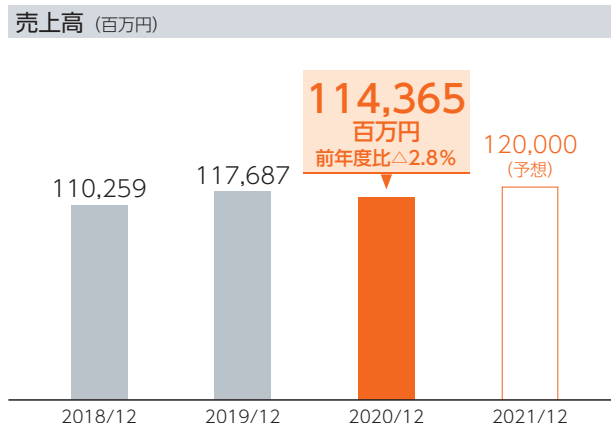
2020年12月期は、主力の住宅事業において、消費増税の反動減の影響で引渡し棟数が減少したことおよび新型コロナウイルス感染症の影響により、不動産投資事業を中心に営業活動の制限を受け、ホテルの休業を余儀なくされたことなどから、売上高が前期を下回る状況となりました。しかし利益面においては、経費削減や業務改善による効率化施策の取り組みが奏功したことにより、各利益段階において過去最高益を更新しました。

セグメント別に振り返ると、住宅事業は、コロナ禍による緊急事態宣言が発出された4月から5月にかけて、住宅

展示場への来場者が減少し、一時的に受注高が低下しました。しかし7月以降、来場者数が回復したことに加え、WEBツールの充実やデジタル技術を活用した営業手法も成果を上げ、またコロナ禍による在宅時間の増加がZ空調をはじめとする当社グループの商品価値に対する再評価にもつながり、下半期の受注は好調に推移しました。結果としては、消費増税の反動減により、期首受注残が前年を下回っていたことから、売上高は減収となりましたが、2019年に実施した組織再編効果や業務効率化をはじめとする販管費の削減などが効果を上げ、増益を遂げました。

不動産投資事業は、コロナ禍によるインバウンド需要の消失と国内旅行需要の減少を受け、大半のホテルを休業し、収益物件販売も投資マインドの低下により伸び悩んだ

業績ハイライト



ため、大幅な減収・減益となりました。

断熱材事業は、消費増税の影響で戸建住宅部門の受注が減少したものの、マンション・ビルや倉庫など建築物部門がカバーし、増収となりました。利益面は、販管費を抑制し、増益となりました。

リフォーム事業は、同じく消費増税の影響により住宅事業の引渡し棟数が減少したことから外構工事の受注が減少し、減収となりましたが、近年進めている注文住宅オーナー様への定期点検強化などが粗利益率の改善をもたらし、増益を遂げました。

介護保育事業は、12月に老人ホーム4施設の事業譲渡を実施しました。そのため売上が前期を若干下回りましたが、2019年4月に開設した保育園2施設が順調に稼働したことにより利益の改善を果たしました。なお老人ホーム4施設の事業譲渡については、特別利益として約4億円の事業譲渡益を計上しました。

技術活用・デジタルシフトを加速 本業に注力し、住宅事業の再成長へ

コロナ禍への対応は、営業手法の見直しや業務効率の改善を促進し、結果として業績向上につながる効果を生み出しました。タブレット端末などのITツールやWEBツールの活用は、従来から取り組みを進めていたため、非対面営業などのコロナ禍での対応がスムーズに進みました。これにより営業活動のみならず、社内や工事従事者との打ち合わせも効率性を高めています。同時に、自社WEB

サイトからの集客に注力したことに加え、YouTube、Instagram、LINEなどのSNSを活用した情報発信に努めたことで、年間の受注に占めるWEBサイト経由の契約件数は前期比約2.4倍に増加しました。

また6月には、冬の外気温を人工的に再現した中で「Z空調」の暖かさを体感でき、「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の家」との比較も可能なZ空調体感ラボ「ZOOON（ゾーン）」を栃木県栃木市に開設しました。来場された多くのお客様からご好評をいただいています。

2021年12月期は、増収・増益を計画 年間配当は10円増配を予定

現在の事業環境は、コロナ禍終息の見通しが依然として立たず、先行き不透明な状況にあります。Z空調が持つ換気性能や経済性など、当社グループが提供する商品価値は、ニューノーマルの定着を追い風に評価を一層高めており、引き続き販売拡大が見込まれます。

そうした中で、2021年12月期は「本業への注力」を方針に掲げ、住宅事業の再成長に向けて、営業拠点の拡大など積極的な取り組みを進めていきます。前述のZ空調体感ラボ「ZOOON」も、新たに埼玉県蓮田市、茨城県つくば市、宮城県仙台市の3ヵ所に増設する予定です。

その他の事業については、老人ホームの事業譲渡を行った介護保育事業の減収を想定していますが、不動産投資事業は、収益不動産の仕入を増やして売却益の拡大を図り、断熱材事業およびリフォーム事業は、引き続き

好調を維持できる見通しです。以上を前提として2021年12月期の連結業績は、売上高および各段階利益において過去最高の更新を計画しています。

なお、期末配当は、予定通り1株当たり45円といたしました。これにより年間配当額は中間配当45円と合わせて前年と同額の90円となります。2021年12月期については、10円増配し、年間100円を予定しております。

ヤマダHDグループの一員として シナジーを発現させ、成長機会を獲得

当社は、株式会社ヤマダホールディングスによる当社株式の公開買付けを経て、2020年10月29日付で同社を筆頭株主（議決権保有割合50.1%）に迎え、ヤマダホールディングスグループの一員となりました。

家電販売事業をコアとするヤマダホールディングスグループは、生活インフラにかかわる経営の一環として住宅事業を展開しており、当社グループとはお互いの強みを活かした協業を行うことで、多くのシナジーが見込める関係にあります。そして当社グループは、事業規模が大きく認知度の高い同社グループの傘下で、ステークホルダーの信用度と安心感をより高めつつ、成長を加速することができます。

具体的な協業の第1弾として、2021年1月より同社子会社の株式会社ヤマダホームズで「Z空調」の受注・販売を開始しました。当社グループは、従来通り経営の独立性を担保した上で、さまざまな形でヤマダホールディングス



グループとの協業展開の幅を拡げ、シナジーの発現とともに新たな成長機会を獲得していきます。

「2030年ビジョン」を新たに制定 社会課題を解決し、SDGs達成に貢献

このたび当社グループは、次の10年で目指すべき企業グループ像を明確化した「2030年ビジョン」を定めました。これは、当社グループの企業価値の拡大と社会価値の創出を同時に実現していくものです。

これからの当社グループは、事業を通じて社会課題を解決し、SDGs達成に貢献すべく「2030年ビジョン」に掲げた指針を着実に遂行してまいります。（「2030年ビジョン」の詳細はP5特集へ）

株主の皆様におかれましては、ヤマダホールディングスグループの一員として新たな飛躍を目指す今後の事業展開にご注目いただき、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「2030年ビジョン」を新たに策定

このたび当社グループは、次の10年で目指すべき企業グループ像を明確化した「2030年ビジョン」を定めました。「2030年ビジョン」は、下記の四つを指針とする取り組みを推進し、企業価値の拡大と社会価値の創出を同時に実現していくものです。当社グループはこれらの取り組みを通じて、社会課題の解決とSDGsの達成を目指してまいります。



我々は、日本の住環境を劇的に変え、日本人の暮らしの質を世界標準に向上させます



我々は、業界トップの働きやすい環境と高い生産性を達成します



我々は、他に類を見ないビジネスモデルの更なる構築に向けて、創造と挑戦を繰り返します



我々は、独創的かつ持続的な価値を提供する社会貢献企業を目指します

コロナ禍の取り組み

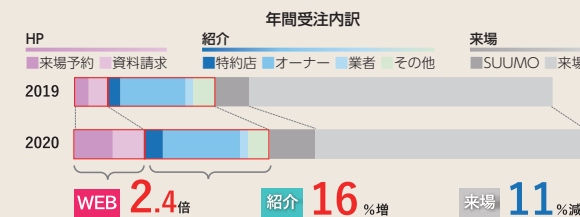
タブレット端末などのITツールを積極的に活用

コロナ禍への対応として、従来から取り組みを進めていたITツール・WEBツールの活用を推進。営業活動をはじめとして、社内や工事従事者との打ち合わせにおいても効率を高めています。



コロナ禍で受注高前年比 107% 集客チャンネル多様化が展示場集客減を補う

展示場への集客のみに頼らない方策として、YouTubeなどSNSを活用した情報発信や自社WEBサイトからの集客強化、顧客紹介促進することで、WEBや紹介からの受注が大幅に増加し、展示場集客減少を補い受注高は前年比107%となりました。

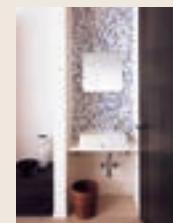


これからの家づくり 新しい生活様式に対応したヒノキヤグループのライフスタイル提案

これからの生活や働き方が大きく変わろうとしています。これまで以上に、家族との時間を大切にしながらも、仕事に集中できる働き方や家にずっといることが、むしろ居心地良く、リラックスできる。

そんな暮らしを叶えるヒノキヤグループのアイデアです。

オーナー宅「Z空調のみ」の電気代公開!



感染予防対策 エントランス水栓



在宅ワーク「ワークスペース」



自宅で屋外を楽しむ 「屋上庭園青空リビング」



冷暖房中も窓を開けずに換気できる「Z空調」

住宅事業

売上高構成比
73.0%



売上高 > 854億57百万円
前年度比△2.2% ↓

営業利益 > 62億42百万円
前年度比+7.5% ↑

不動産投資事業

売上高構成比
1.0%



売上高 > 11億18百万円
前年度比△55.5% ↓

営業利益 > 27百万円
前年度比△86.5% ↓

断熱材事業

売上高構成比
18.7%



売上高 > 218億72百万円
前年度比+2.4% ↑

営業利益 > 18億55百万円
前年度比+0.1% ↑

リフォーム事業

売上高構成比
2.8%



売上高 > 33億22百万円
前年度比△3.0% ↓

営業利益 > 2億26百万円
前年度比+3.3% ↑

介護保育事業

売上高構成比
4.4%



売上高 > 52億4百万円
前年度比△1.7% ↓

営業利益 > 1億55百万円
前年度比+43.3% ↑

その他事業

売上高構成比
0.1%



売上高 > 1億14百万円
前年度比△59.9% ↓

営業利益 > △16百万円
前年度は△1百万円 ↓

TOPICS
1

ヤマダホールディングスのグループ会社へ

2020年10月に株式公開買付けが成立し、当社は株式会社ヤマダホールディングスの連結子会社となりました。

ヤマダホールディングスグループの豊富な経営資源と業界トップの認知度に、ヒノキヤグループの革新的、独創的な商品を組み合わせ、両社の相乗効果によって更なる発展を目指します。

また、2021年1月からは株式会社ヤマダホームズで「Z空調」の受注・販売を開始し、企業価値の最大化を図ります。

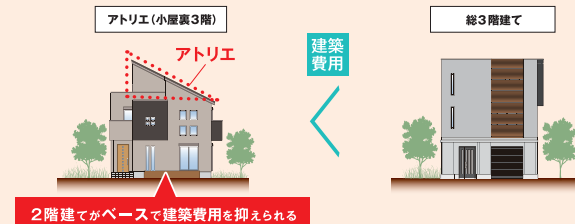


TOPICS
2

空に一番近い部屋「Atelier(アトリエ)」を新たに発売
小屋裏の自由な活用方法をご提案



当社子会社である株式会社松家住宅は、『Atelier(以下、アトリエ)』の販売を開始いたしました。ヒノキヤグループのテクノロジーとアイデアによって、小屋裏を居室とし、収納だけではなく新たな発想の空間をリーズナブルに提供します。



【特徴】

- 1: 独自の断熱、赤外線遮断技術により、夏でも快適な小屋裏空間を実現
- 2: 趣味の空間、子供部屋、ゲストルームなど使い方は自由自在
- 3: ベースの建物の設計変更のみで実現でき、建築・設計コストを抑えられる
- 4: 『青空リビング』(屋上庭園)との組み合わせで広がる間取り

■『アトリエ』設置展示

- 西新井展示場(東京都足立区栗原1-7 西新井住宅公園内)
- 新浦和展示場(埼玉県さいたま市浦和区領家5-15-17)
- 市原展示場(千葉県市原市更級1-6-9)
※2021年4月オープン予定
- 春日部展示場(埼玉県春日部市谷原2-2-6) ※2021年5月オープン予定



TOPICS
3

新時代冷暖システム『Z空調』体感ラボ「ZOON」がオープン

当社が開発した新時代冷暖システム『Z空調』の冬の暖かさを1年中体感できる施設「ZOON(ゾーン)」が栃木県にオープンしました。「ZOON」には、外気が0~1℃に建つ『Z空調』の家とZEH仕様の家の部屋が体感ROOMとして再現されており、リアルタイムで計測しているサーモグラフィ画像からも家中むらなく暖かいことが確認できます。

今後、新たに3カ所(埼玉県、茨城県、宮城県)増設し、多くの皆様に「Z空調」の良さを体感していただく予定です。



2021年
新たに3カ所増設計画

- 埼玉県 蓮田市
- 茨城県 つくば市
- 宮城県 仙台市

TOPICS
4

コーポレートロゴをリニューアル

2021年4月より当社のコーポレートロゴをリニューアルいたします。人と人との“温もり”を感じさせるオレンジ色はこれまで通り継承し、「HINOKIYA」の表記を文字幅の広い文字にすることで視認性を高め、より存在感のある企業へと成長していくことを表しています。

メインロゴ

HINOKIYA

サブカラーロゴ

HINOKIYA

白抜きロゴ

HINOKIYA

会社概要 (2020年12月31日現在)

社名 株式会社ヒノキヤグループ
 本社事務所 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
 丸の内トラストタワー本館7階
 設立 1988年10月13日
 資本金 3億8,990万円
 従業員数 連結3,058名
 事業内容 住宅事業／不動産投資事業／断熱材事業／リフォーム事業／介護保育事業他

役員 (2021年3月26日現在)

代表取締役社長	近藤 昭	社外取締役	出口 俊一
常務取締役	森田 哲之	社外取締役	片山 雅也
常務取締役	荒木 伸介	常勤監査役	長谷 忠宏
取締役	常住 順一	常勤監査役	園田 早苗
取締役	島田 幸雄	社外監査役	長谷川 臣介
取締役	荒井 孝子	社外監査役	長澤 正浩

グループ会社 (2021年3月26日現在)



株式の状況 (2020年12月31日現在)

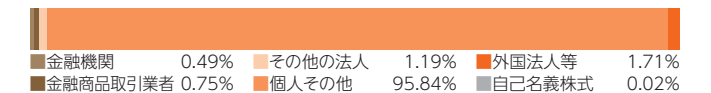
発行可能株式総数 48,300,000株
 発行済株式の総数 13,575,000株
 株主数 3,867名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヤマダホールディングス	6,327,659	50.10
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	393,900	3.12
株式会社日本カスタディ銀行(信託口)	353,100	2.80
ヒノキヤグループ従業員持株会	326,428	2.58
ヒノキヤグループ取引先持株会	260,500	2.06
野村證券株式会社	198,800	1.57
株式会社三菱UFJ銀行	180,000	1.43
黒須 新治郎	167,100	1.32
黒須 久雄	100,000	0.79
益子 春代	100,000	0.79

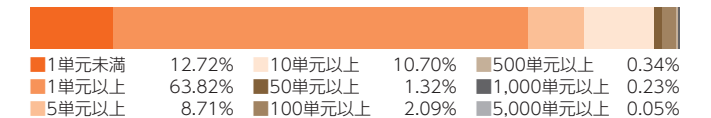
(注)1.当社は2020年12月31日現在、自己株式945,140株(6.96%)を保有しており、これを持株比率の計算から除外しております。
 2.持株比率(%)は、表示単位未満を四捨五入しております。

分布状況

所有者別株主数分布状況



所有株数別株主数分布状況



1株当たりの年間配当額状況

	2019年12月期	2020年12月期
中間	45円00銭	45円00銭
期末	45円00銭	45円00銭
合計	90円00銭	90円00銭